

100人アンケート 第3回「石油ストーブについて」

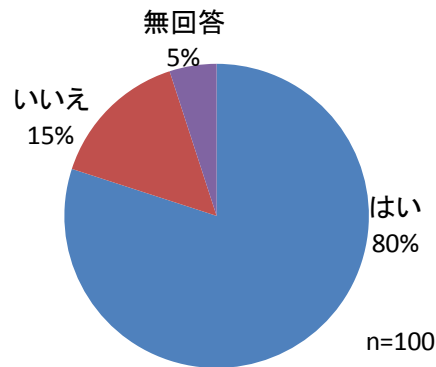
実施期間 2011年 11月 20日～30日

配布数 100

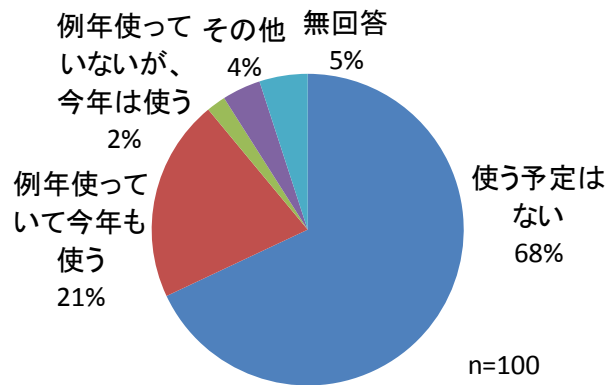
回答数 95

回答率 95.0%

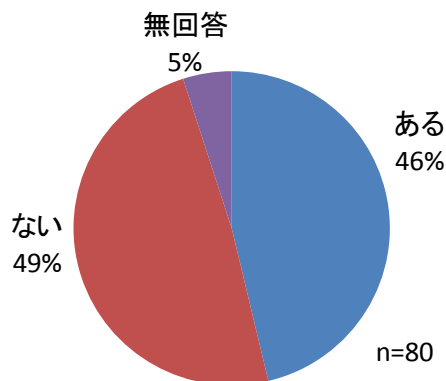
Q1. あなたは石油ストーブ(石油ファンヒーターを含む)を使ったことがありますか？



Q2. 今年の冬に石油ストーブ(石油ファンヒーターを含む)を使いますか？



Q3. 石油ストーブ(石油ファンヒーターを含む)を使ったことがある方へ
使用していて、ヒヤッとしたり危険だと感じたことはありますか？



<ヒヤットしたり、危険だと感じた主な具体例>

- 給油の際に灯油をタンクからあふれさせた。
- 不完全燃焼で発煙。室内に煙が充満した。
- 使用中うっかり寝てしまい、まったく換気をしないで長時間使用していた。
- やかんをかけていて、ひっくり返した。
- 洗濯物がはずれてストーブの上に落ち、焦げそうになる。
- 子供がヒーターの吹き出し口に手を差し込みそうになった。 …など

【まとめ】

この冬は節電の意識の高まりや災害時・停電時の備え等から、石油ストーブの売上げが増加しています。石油ストーブは便利な反面、使い方を誤ると火災などの重大事故を起こす心配があります。

アンケートでは、石油ストーブ(石油ファンヒーターを含む)を使ったことがあると回答した方は80%でしたが、この冬に使うと回答した方は、22%でした。

石油ストーブ(石油ファンヒーターを含む)を使っていて、ヒヤットしたり、危険だと感じた方は、46%でした。具体例を尋ねたところ、給油の際に灯油がこぼれた、子どもがファンヒーターの吹き出し口に触りそうになった、洗濯物が落ちて引火しそうになったなど、普段ついやってしまうことが事故につながる可能性があることがわかりました。

石油ストーブを安全に使うためには、

- 給油する時には、石油ストーブを必ず消火する
- 石油ストーブの近くで洗濯物を干さない
- スプレー缶は石油ストーブを使用している部屋では使わない
- 子どもが触らないようにする
- 換気をする

などの注意が必要です。

ほこりが異常燃焼の原因になることもあります。石油ストーブを使用する前には必ずきれいに掃除をしましょう。また、使用中に異変を感じたら、すぐに使用を中止してください。

※石油ストーブについて、ご意見・ご感想など

- 灯油を入れるときに、どうしても引火の危険性などを意識しながらという旧態依然とした構造、何とか進化してもらえれば…と思います。
- 40年位前、アラジンの石油ストーブを使用していましたが、育児期から危険回避と煩わしさ回避のため、石油の使用は止めました。火をつけたまま給油している人がいると聞いて、鳥肌が立ちました。安価でつい手軽に使っていますが、リスク情報の普及が必要でしょう。
- 耐震自動消火装置のついていない古い品を使って火災を出す事例が多いので、ストーブ

ブヤコンロの旧型について、安全装置のない品は、一定の期間経過した物は使わない
広報が必要と考える。

- 暖房器具としては、移動ができて、すぐに温かくなり経済的ですので当分は使うと思
います。
- 我が家はガスファンヒーターと電気の暖房です。3月11日の地震の後石油ストーブ
を購入しました。しかし石油ファンヒーターではないのでガス、電気が止まった時に
しか使わない予定です。
- 以前は使っていたが、灯油の購入はスタンドまで行かねばならず体力的に重いものを
運ぶのが無理になりました。暖房は主にガスを使います。